

読書ノート

～パパ・ママの読み聞かせノート～



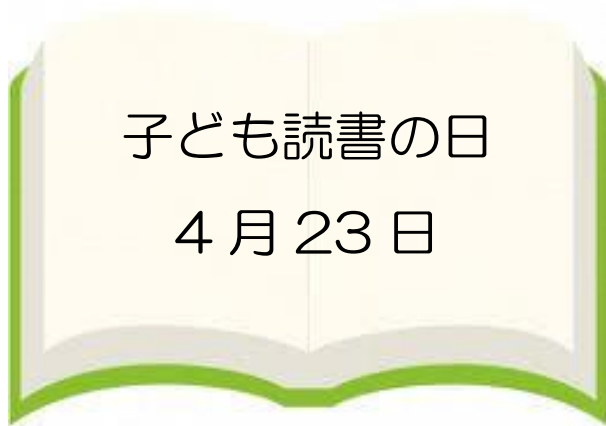
お子さんのなまえ

保護者のみなさまへ

子どもの読書活動は、子どもが、言語を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです。

この「読書ノート（パパ・ママの読み聞かせノート）」は、豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）の重点分野である「乳幼児の読書環境の充実」、家庭における読み聞かせなど本と子どもを結びつけるきっかけづくりの一つとして作成しました。

お子さんの成長記録の一つとしても活用してみませんか？



はじめての絵本

お子さんのなまえ：

生まれた日： 年 月 日

タイトル：

読んだ日： 年 月 日

読んだ人：

メモ：



読書ノートの使い方・記入方法

- ① 読み聞かせをした日付・タイトルを記入しましょう。
- ② メモ欄は、感じたこと、記録しておきたいことなど自由に記入しましょう。
例えば、絵本の著者、出版社、読んだ人、
購入したものか、プレゼントか、
読んでいる時のお子さんの様子、会話の内容、
保護者の感想、なぜその絵本を選んだのかエピソード
など
- ③ 継続して記入することにより、お子さんの成長記録となります。
お子さんが成長した時に渡してみませんか？
きっと、すてきなプレゼントになりますよ！

【例】

冊	読んだ日	タイトル	メモ
1	2018 / 4 / 23	〇〇〇〇	著者：〇〇 出産祝い（祖父母より） にこにこして絵をじっと見ていた。



読んだ絵本のリスト

冊	読んだ日	タイトル	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			



冊	読んだ日	タイトル	メ	モ
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

冊	読んだ日	タイトル	メモ
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			





冊	読んだ日	タイトル	メ	モ
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				



冊	読んだ日	タイトル	メ	モ
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				



冊	読んだ日	タイトル	メ	モ
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				

冊	読んだ日	タイトル	メモ
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			





冊	読んだ日	タイトル	メ	モ
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				



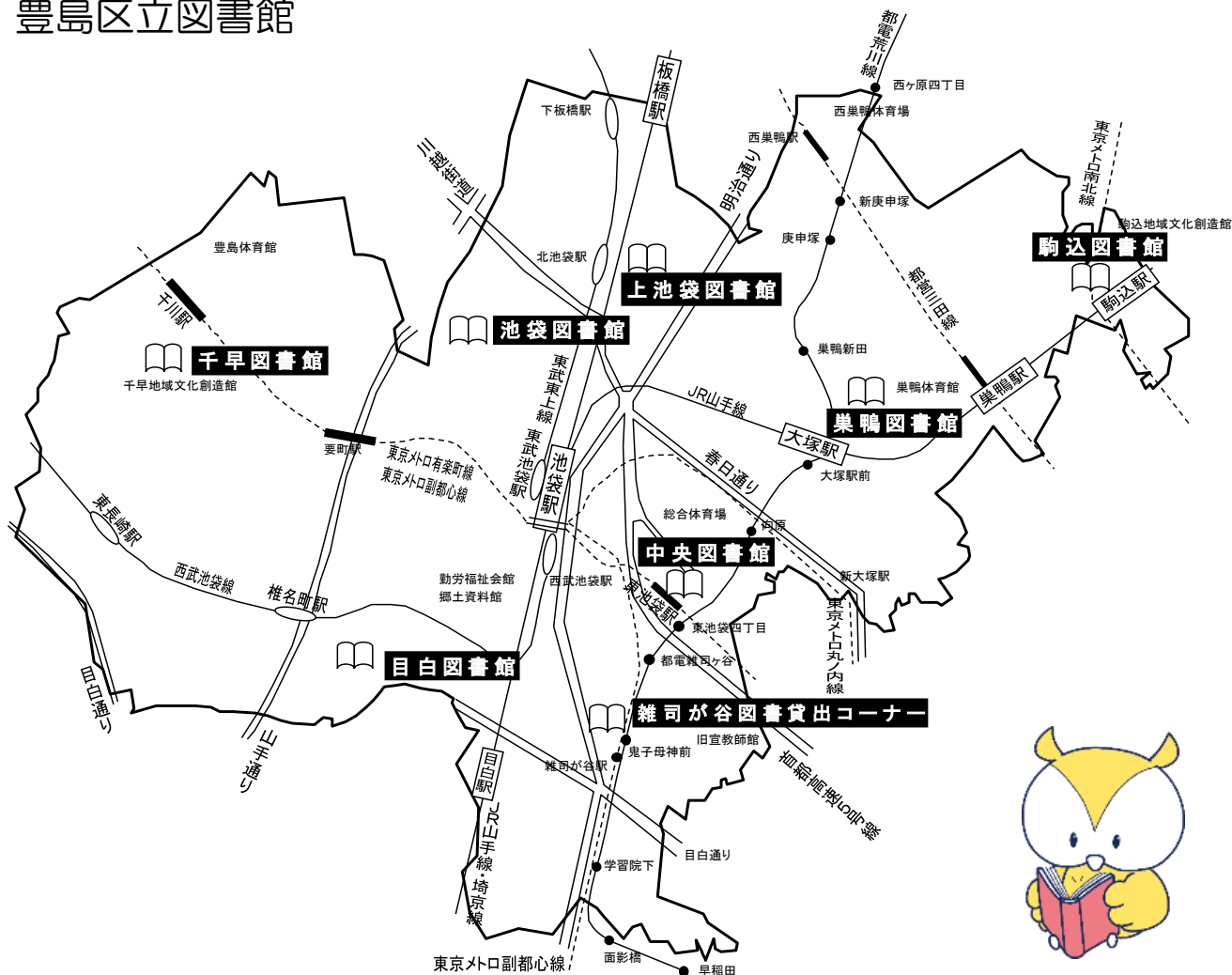
冊	読んだ日	タイトル	メモ
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			

冊	読んだ日	タイトル	メモ
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

100冊達成 おめでとう！



豊島区立図書館



中央図書館	豊島区東池袋 4-5-2	03-3983-7861
駒込図書館	豊島区駒込 2-2-2	03-3940-5751
巣鴨図書館	豊島区巣鴨 3-8-2	03-3910-3608
上池袋図書館	豊島区上池袋 2-45-15	03-3940-1779
池袋図書館	豊島区池袋 3-29-10	03-3985-7981
目白図書館	豊島区目白 4-31-8	03-3950-7121
千早図書館	豊島区千早 2-44-2	03-3955-8361

★ なぜ絵本なの？

絵本は、あかちゃんからお年寄りまでみんなが楽しめるものです。一緒に読んで気持ちを共有し、共感する楽しみがあります。子どもたちのくらしに本があることで毎日が豊かになります。本を読み一緒に過ごす時間は、子どもたちにとっても読む人にとっても楽しいひとときになりますよ。

★ どのように読めばいいの？

読み方にルールはありません。お子さんのペースにあわせて、ゆっくりと楽しみながら読みましょう。

★ 同じ本ばかり見ているのですが。

お気に入りの本が見つかったのですね。その本は、お子さんにとって、いつ遊んでも楽しいお友達のような存在です。何度でも読んであげてください。きっとすてきな思い出になりますよ。

★ 自分で読めるようになったから、もう読まなくていいですか？

子どもたちは、自分で読めるようになっても身近な人に本を読んでもらえるとうれしいものです。いくつになっても、「ねえ、よんで」と言われたときは、どんどん読んであげましょう。

